



H30. 12. 18 №1379
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 第24回静岡県青年・女性漁業者交流大会

県と県漁連は、12月7日、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」に於いて第24回青年・女性漁業者交流大会を開催しました。

大会では、静岡県経済産業部水産局水産振興課 高瀬課長、県漁連 藪田会長が主催者挨拶を述べ、審査委員、来賓紹介の後、以下の発表が行われました。

<実績活動発表>

① 「静浦活性化計画 ～ゼロからの挑戦～」

沼津市漁業協同組合青壮年部連絡協議会静浦支部 鈴木貴士さん

② 「日本三大急流のひとつ“富士川”再起への奮闘記 ～天然アユをシン

ボルにした河川環境復元への挑戦～」

芝川観光非出資漁業協同組合 長谷川三男さん

審査委員7名（審査委員長：増元英人県水技研所長）による厳正な審査の結果、「静浦活性化計画 ～ゼロからの挑戦～」を発表した、沼津市漁業協同組合青壮年部連絡協議会静浦支部 鈴木貴士さんが、最優秀賞（県知事賞）を受賞しました。

発表の内容は、市場の水揚量減少や漁協組合員数の減少、思わしくない漁協経営などを知り、漁協が潰れてしまうかもしれないという状況に直面した若手漁業者が、浜を元気にし、活性化させて漁協の経営を助けようと未経験の取組みに積極的に挑戦し、漁協、漁業者だけでなく他業種、行政などを巻き込んだ地域一体型の活動に発展させた内容が評価されたものです。

また、会場では審査が行われている間、県立焼津水産高等学校3年 海洋科学科 航海類型 高田綾太さん、池谷真輝さん、竹内大輔さんが「ヘドロの活用技術と漁業や防災への活用について」と題し、研究発表を披露しました。

なお、最優秀賞を受賞した沼津市漁業協同組合青壮年部連絡協議会静浦支部の発表内容は、2月28日、3月1日、に東京にて開催される全国大会に県代表として推薦されました。

2. 『水産政策の改革』に係る説明会を開催

—県漁連—

本会では、11月13日男女共同参画センター「あざれあ」において『水産政策の改革』に係る説明会を開催しました。

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

今回の説明会は、国が進める新たな水産政策について、漁業・漁協関係者をはじめ多くの水産関係者が、その内容の詳細を把握していないことから、不安を抱えている現状を受け、本県の漁業・漁協関係者とその他水産関係者を対象に説明会を開催することとなったものです。

当日は、県内各漁業の組合長をはじめ各水産関係団体長など約50名が参加、水産庁漁政部企画課藤田晋吾企画官、増殖推進部栽培養殖課太田耕平課長補佐を講師に「水産政策の改革」について、その方向性や関連法制度の改正内容、施行スケジュールなどの説明を受けました。

特に改革の中核であり、約70年ぶりとなる漁業法の改正に関しては、海面利用制度の見直しや新たな資源管理システム、漁業許可制度の見直し、漁協制度の見直しなど、全てが、漁業者、漁協関係者や各水産関係団体の経営・運営に直結する事項が多く含まれていることから、説明後の意見交換では、改正法施行後の不安や懸念を抱える出席者と水産庁担当者間で活発かつ熱心な質疑応答が交わされました。

3. 駿河湾産サクラエビ秋漁断念

—県桜えび漁業組合—

静岡県桜えび漁業組合（望月武組合長）は、12月13日、由比港漁協において船主会を開催し、深刻な不漁で本格操業を見合わせていた本年度駿河湾産桜えびの秋漁を11日前倒しして終漁することを決定しました。漁期中の天候不順以外で一度も出漁しないまま秋漁を終了するのは、1977年以降では、初めてのことです。

11月12日に解禁された本年度の駿河湾産桜えびの秋漁は、春漁で記録的な不漁に見舞われたことを受け、漁業者は自主規制の導入や資源調査など資源回復に努めましたが、漁期中4回にわたり採取したサンプルを県水産技術研究所が分析した結果、水揚げに適さない体長35mm以下の稚エビ（0歳魚）の割合が、組合が決めた「3分の1未満」の基準を満たさませんでした。特に12月10日に実施した4回目の資源調査では、調査した10海域のうち3海域でしか魚群が確認できず、稚エビの割合も63%～76%を占めたことから、加工業者の了解を得たうえで、終漁を決定したものです。

県桜えび漁業組合では、年明けから資源調査を再開し、春漁に向けての態勢を話し合うこととしています。

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう